

# 2015年度 第2四半期 決算説明会

2015年11月6日



将来の業績に関する予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

# コンテンツ

---

- I 2015年度第2四半期 決算概要
  - II 2015年度業績見通しと14中計進捗状況
  - III 2015年度第2四半期 連結決算詳細
- (参考)補足資料

# 2015年度 第2Q決算 ハイライト

(単位:億円)

	14年度 第2Q	15年度 第2Q		対前年 同期差額
	実績	予想	実績	
受注高	2,552		2,116	△436
売上高	3,524	3,900	3,810	+286
営業利益 (売上高利益率)	87 (2.5%)	10 (0.3%)	△9 -	△96
経常利益 (売上高利益率)	91 (2.6%)	40 (1.0%)	24 (0.6%)	△67
当期純利益 (売上高利益率)	43 (1.2%)	5 (0.1%)	△11 -	△54

US\$期末レート
US\$平均レート

119.96
111.80

## 受注高

子会社における船舶の前年度駆け込み需要による反動や、運搬機の受注調整により前年同期比減となった。

## 売上高

エンジニアリングセグメントでEPC案件の進捗が順調だったこと等により、前年同期比増収となった。

## 営業利益

造船子会社における損失引当計上、MODECでの修繕費用計上等により低い水準となった。

## 当期純利益

営業利益の悪化により、減益となった。

# 2015年度 第2Q決算 ハイライト

## セグメント別前年同期比較

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	14年度 第2Q	15年度 第2Q	増減	14年度 第2Q	15年度 第2Q	増減	14年度 第2Q	15年度 第2Q	増減
船舶 海洋	1,128	807	△321	2,083	2,112	29	45	△90	△135
機械	713	544	△169	745	810	65	40	69	29
エンジ アリング	521	579	58	521	710	189	△13	2	15
その 他	190	186	△4	175	178	3	15	10	△5
合計	2,552	2,116	△436	3,524	3,810	286	87	△9	△96

# 2015年度 第2Q決算 ハイライト

## 船舶海洋セグメントの減益について

- 造船子会社で建造中の海洋支援船における追加費用  
→設計変更・不具合による工期遅延、後戻り作業等追加費用の発生。  
→現時点で想定しうる費用を引当計上。親会社で支援体制を構築。
- MODECにおける修繕費用計上、未実現損益の消去
- 厳しい時期に受注した新造船の売上計上

## エンジニアリングセグメントでは不採算工事が一掃

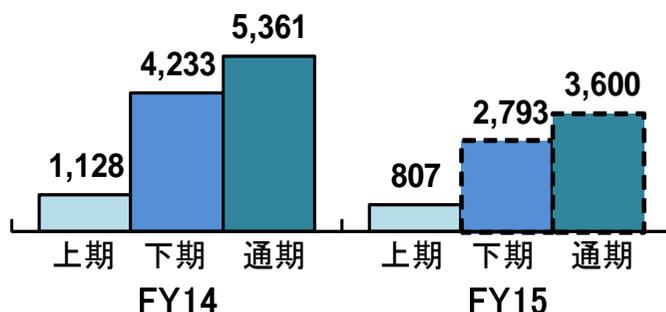
環境が厳しいときに受注した不採算案件が一掃し、当面は採算の見込める工事が続く。

### 152Q以降の受注残案件

事業	主な受注残案件
石油化学 約1,300億円	エクソン(北米、シンガポール) SASOL(北米)
インフラ発電 約1,600億円	火力発電所土木EPC(東南アジア) バイオマス発電所EPC(イギリス)
O&M 約850億円	バイオマス発電所O&M(イギリス)

(単位:億円)

受注高

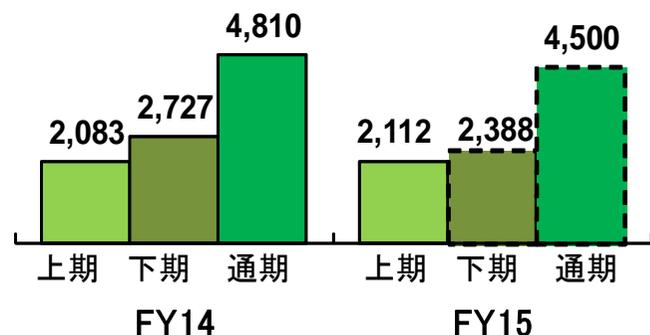


## 受注高:対前年同期△321億円の減少

バルクキャリアの用船料低迷を受けて発注意欲が大幅に減退しているものの、省エネ船の先行ヤードとしての強みを活かし一定の受注を確保した。

通期では、MODECの受注期ズレが見込まれることから、見通しを下方修正した。

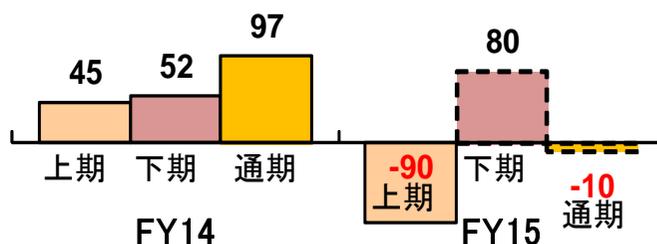
売上高



## 売上高:対前年同期+29億円の増収

MODECでのFPSO建造工事や、各種手持ち工事の順調な進捗等により、ほぼ計画通りに推移した。

営業利益

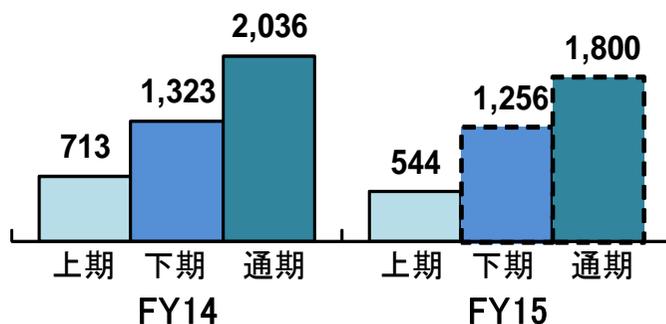


## 営業利益:対前年同期△135億円の減益

子会社で建造中の海洋支援船における多額の受注工事損失引当金計上や、MODEC子会社での修繕費用計上と未実現利益消去により、前年同期を大幅に下回ることとなった。

(単位: 億円)

受注高

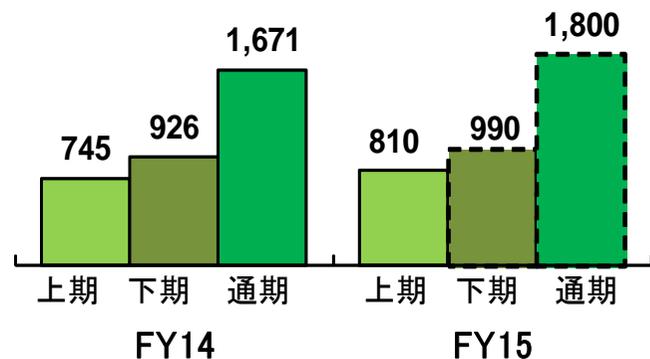


## 受注高: 対前年同期△169億円の減少

運搬機が、昨年度の好調な受注により手持ち工事が増加したため、生産能力を考慮して、受注活動を調整したことから169億円の減少となった。

通期では、産業機械が低迷しているが、運搬機の需要は引続き旺盛であり、今後の生産能力増を見越して、下期から回復する。またアフターサービス事業の受注も好調であることから、通期計画は達成可能。

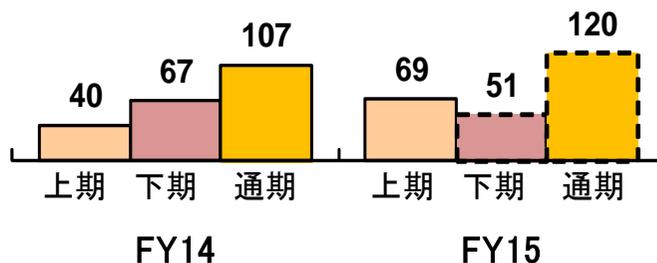
売上高



## 売上高: 対前年同期+65億円の増収

好調な運搬機とアフターサービス事業の増収により、前年同期比増収となった。

営業利益



## 営業利益: 対前年同期+29億円の増益

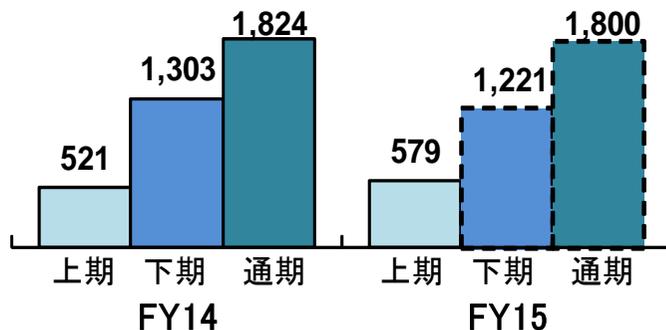
船用ディーゼル機関本体の採算改善に加え、運搬機及びアフターサービス事業が引続き好調なことや、コストダウン努力の成果等により、前年同期を上回った。

# エンジニアリング

主要製品: 化学プラント、水処理プラント、  
海外土木・建設工事、発電プラント

(単位: 億円)

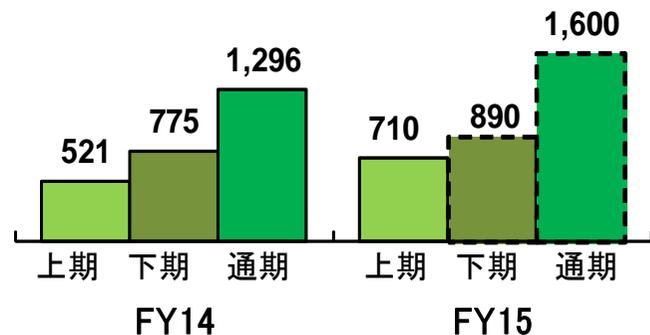
受注高



## 受注高: 対前年同期+58億円の増加

化学プラント分野では、大きな受注はなかったが、インフラ発電分野において、風力発電所建設工事を受注した。また、子会社BWSCが英国でバイオマス発電所建設及びO&Mを受注したこと等により、前年同期を上回った。

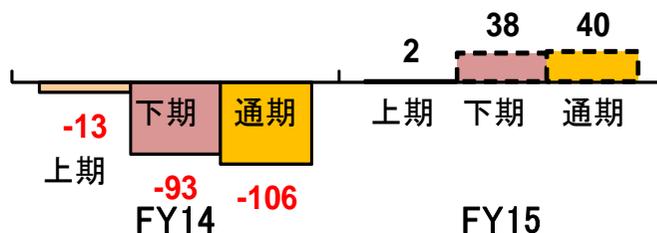
売上高



## 売上高: 対前年同期+189億円の増収

一昨年度に受注した大型案件をはじめとした既受注工事を着実に遂行したことや、BWSCの増収などにより、前年同期を上回った。

営業利益



## 営業利益: 対前年同期+15億円の増益

不採算工事を一掃し、一昨年度に受注した大型案件が中心となるため、これを着実に遂行することにより黒字転換となった。

# 2015年度業績見通し

(単位:億円)

	15年度 期初予想	15年度 最新予想	増減
<b>受注高</b>	9,100	7,500	△1,600
<b>売上高</b>	8,300	8,300	0
<b>営業利益</b> (売上高利益率)	220 (2.7%)	180 (2.2%)	△40
<b>経常利益</b> (売上高利益率)	250 (3.0%)	220 (2.7%)	△30
<b>当期純利益</b> (売上高利益率)	130 (1.6%)	130 (1.6%)	0
<b>1株当り配当</b>	3~4円	4円	

US\$前提

115.00

115.00

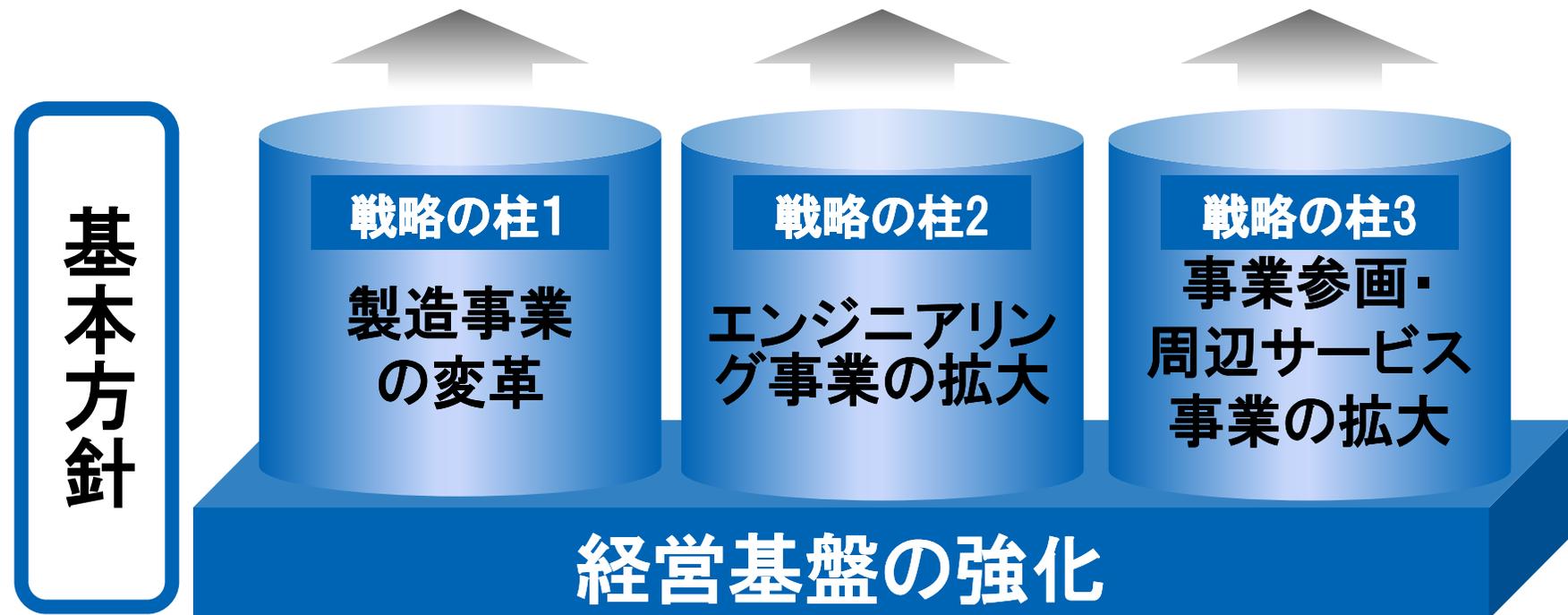
# 2015年度業績見通し(セグメント別)

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	15年度 上期 (実績)	15年度 下期 (予想)	通期 (予想)	15年度 上期 (実績)	15年度 下期 (予想)	通期 (予想)	15年度 上期 (実績)	15年度 下期 (予想)	通期 (予想)
船舶 海洋	807	2,793	3,600	2,112	2,388	4,500	△90	80	△10
機械	544	1,256	1,800	810	990	1,800	69	51	120
エンジ アリング	579	1,221	1,800	710	890	1,600	2	38	40
その 他	186	114	300	178	222	400	10	20	30
合計	2,116	5,384	7,500	3,810	4,490	8,300	△9	189	180

## 基本方針

持続的成長と収益安定性を兼ね備えた  
バランスの取れた事業ポートフォリオの実現



# 1 4 中計 進捗状況

## 事業環境認識

短期的には厳しいが、新たな事業機会も拡大

- 新興国の成長鈍化、金融不安や為替等、世界経済の先行き不透明感は継続
- アジアを中心とする新興国の経済成長が世界経済を牽引する構図は不変
- 世界的なエネルギー需要の増加と天然ガスや再生可能エネルギーへのエネルギーシフトが加速
- シェール革命による産業構造変化が進展
- 新たな海洋基本計画(2013年4月)
- 船舶・船用エンジン分野は、短期的には厳しい経営環境が継続
- 海洋資源開発、石油・ガス化学、電力・環境・エネルギー、物流・運搬分野で設備投資が活性化、受注機会増大

# ガスビジネス

## LNG市場の変化

- ・シェールオイル・ガスの生産余剰 → LNGの低価格収斂化 → 短距離LNG輸送の増大

## 海上ガス輸送の今後

- ・インド・中国・東南アジアを中心とするガス市場の発展 → LNGハブの出現
- ・小型・中距離・不定量・現物契約(スポット)増大 → 部分積載の必要性
- ・LNGの低価格収斂化と環境規制領域強化 → ガス燃料船の増加

## 液化ガス輸送船の将来

- ・推進機関は二元燃料が主流に！
- ・船型は大中小カテゴリーに3極化！
 

大型	Membrane	Tanks for Cargo
中型	TypeB(Moss)	Tanks for Cargo
小型	TypeC	Tanks for Cargo



小型「TypeC」イメージ

⇒ neoシリーズに、新たに中規模汎用ガス運搬船「neo82GC」をラインナップ

# ME-GI & FGSS

## ME-GIの国内初号機完成

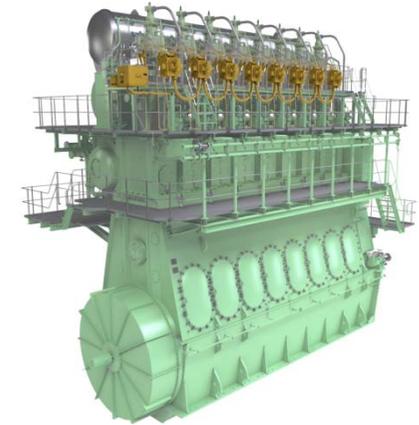
LNG燃料船向け二元燃料機関「MAN B&W 8S70ME-C8.2-GI」

製造可能な二元燃料ディーゼル機関

ME-GI(LNG/重油)

ME-GI-Ethane(エタン/重油)

ME-LGI(メタノール・エタノール・LPG・ジメチルエーテル/重油)



## FGSS\*圧縮機による天然ガス燃料供給開始

ME-GIとFGSS圧縮機の組み合わせによる陸上試運転を実現

搭載前にME-GIとFGSSを組合せた総合試験が出来るのは世界で唯一三井造船だけ



FGSS : Fuel Gas Supply System = 燃料ガス供給システム

# TGE Marine社の株式取得



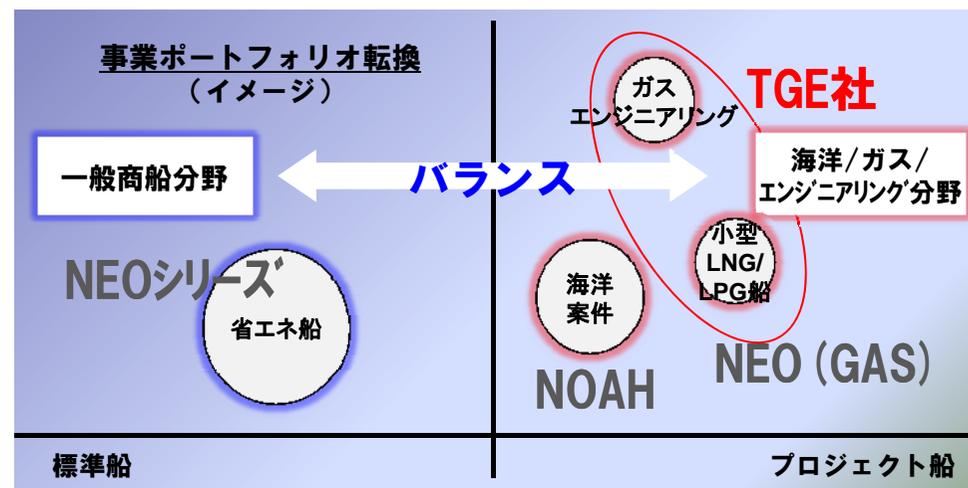
## TGE Marine社の事業

- ドイツ・ボンに本拠を持つガス船エンジニアリング会社
- 圧力式タンク(Type C)技術を主とする小型ガス運搬船、ガスハントリングシステムのEPCS(Engineering, Procurement, Construction Supervision)事業を営む  
→ 小型エチレン運搬船で50%超、LPG運搬船で30%の高いグローバルシェア
- 有力欧州ガス船主と中韓造船所の双方を顧客とするマーケティングを展開

## 株式取得の目的

- MES：中小型ガス船やFSRU\*等のグローバルな市場開拓、FGSS機器の拡販
- TGE：日本市場開拓と事業領域の拡大、調達品のQ&C競争力強化

\* FSRU：Floating Storage and Re-gasification Unit = 浮体式LNG貯蔵再ガス化設備



# 14 中計 進捗状況

【戦略の柱1】 製造事業の变革		
①国内開発・生産体制の再構築	②グローバル事業体制の構築	③部品事業の育成・拡大
FPSO建造、ME-GI・LGI初受注、運搬機の国内での生産能力向上、 <u>neo82GC(新ラインナップ)</u> 、次世代FPSO船体(NOAH)開発	プロセス機器合弁会社、運搬機での海外製造拠点開拓(韓国ブロック生産)、運搬機営業海外拠点(SIN)	<u>ME-GI用FGSS</u> 、THSによる燃費低減効果を確認、 <u>加地テックへの資本参加(水素ステーション)</u> 、ロボティクス事業の推進
【戦略の柱2】 エンジニアリング事業の拡大		
①化学、発電、海洋資源開発競争力拡大、強化	②環境エネルギーの拡大	③グループ内連携、グローバルオペレーションの強化
MODECとの協業強化とTOPSIDEへの参入、MODECによる北海FSO受注、石炭火力発電土木受注(ベトナム)	BWSCによるバイオマス発電受注、印南風力発電受注、 <u>バイオガス発電と飼料化のハイブリッドプラント受注</u>	エンジニアリング子会社間の人材交流、EPC案件を子会社と共同受注
【戦略の柱3】 事業参画・周辺サービス事業の拡大		
①製造事業をコアとした周辺サービスの強化	②EPCをコアとした上流・下流サービスの強化	
トルコ・カタルの新規テクノサービス拠点、新規クレーンと包括メンテナンス契約のパッケージ受注、港湾ターミナル事業への入札参加、KHIと船舶修繕事業の共同運営、AZUMA ENGINEERINGへの資本参加(海外修繕拠点)、 <u>TGE-Marine 社の子会社化(中小型ガス船への参入とFGSS拡販)</u>	<u>別海バイオガス発電事業商用運転開始</u> 、太陽光発電事業(6件)、既存のプラント顧客からアフターサービスを受注(シンガポール)	

# 15年度第2Q 連結損益計算書

(単位:億円)

	14第2Q	15第2Q	増減	
売上高	3,524	3,810	286	
売上総利益	304	222	△ 82	
販売費及び一般管理費	218	231	13	
営業利益	87	△ 9	△ 96	
営業利益率	2.5%	-0.2%	△ 0	
営業外収益	46	70	24	
営業外費用	41	37	△ 4	
経常利益	91	24	△ 67	
特別利益	2	14	12	
特別損失	34	22	△ 12	
税引前利益	59	16	△ 43	
法人税等	31	44	13	
非支配株主利益	△ 15	△ 18	△ 3	
四半期純利益	43	△ 11	△ 54	親会社株主に帰属する四半期利益／損失

# 15年度第2Q 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	144Q末	152Q末	増減		144Q末	152Q末	増減
現預金	854	940	86	買掛金	2,477	2,441	△ 36
売掛金	3,110	2,858	△ 252	前受金	772	962	190
仕掛品	282	381	99	受注工事損失引当金	171	112	△ 59
その他流動資産	1,180	1,206	26	有利子負債	1,883	2,270	387
固定資産	3,894	3,916	22	その他	1,970	1,713	△ 257
投資その他	1,426	1,645	219	純資産	3,473	3,448	△ 25
資産合計	10,746	10,946	200	負債純資産合計	10,746	10,946	200

# 連結キャッシュフロー等の状況

(単位：億円)

	14年度 2Q実績	15年度 2Q実績	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 予想
営業CF	△139	228	472	145	152	180
投資CF	△321	△630	△121	△373	△324	△630
フリーCF	△460	△402	351	△228	△172	△450
財務CF	243	363	△48	155	△44	430
有利子負債	2,088	2,270	1,483	1,878	1,883	2,350
DELシオ	1.0	1.0	0.8	0.9	0.8	1.0
ROE			△4.6%	21.6%	4.1%	

\* 有利子負債：借入金及び社債

# 補足：連結 部門別

(単位：億円)

受注高

	14年度第2Q	15年度第2Q	15年度予想
船舶海洋	1,128	807	3,600
機械	713	544	1,800
エンジニアリング	521	579	1,800
その他	190	186	300
合計	2,552	2,116	7,500

売上高

船舶海洋	2,083	2,112	4,500
機械	745	810	1,800
エンジニアリング	521	710	1,600
その他	175	178	400
合計	3,524	3,810	8,300

受注残高

船舶海洋	9,626	10,457
機械	1,249	1,385
エンジニアリング	3,288	3,827
その他	88	75
合計	14,251	15,744

# 補足：子会社、設備投資、従業員等

(単位：億円)

## 主要子会社

子会社	14年度第2Q		14年度		15年度第2Q		15年度予想	
	受注	売上	受注	売上	受注	売上	受注	売上
MODEC	356	1,620	3,958	3,785	297	1,568	—	3,000
BWSC	33	167	733	354	249	187	—	520
昭和飛行機		111		241		112		240

(単位：億円)

## 設備投資等

連結	14年度第2Q	14年度	15年度第2Q	15年度予想
設備投資	75	166	118	350
減価償却費	83	175	86	—
研究開発	17	49	17	68

## 従業員数

連結	14年度第2Q	14年度	15年度第2Q
従業員数	12,365人	12,291人	12,668人

# 補足：主要製品と主要納入先：船舶海洋

## 新造船

主要製品 = 商船、艦艇、官公庁船、作業船、漁船

主要顧客 = 国内外船主、海運会社、防衛省、海上保安庁



## 海洋構造物

主要製品 = FPSO/FSO (浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備 / 貯蔵積出設備)

主要顧客 = 石油開発会社



## 修繕船・その他

主要製品 = 船舶修理・改造、船舶用製品、水中機器

主要顧客 = 海運会社、防衛省、海上保安庁、公共機関



## 2015年 第2四半期単体新造船受注内訳

(単位：隻)

船種	受注	引渡	受注残
一般商船 (省エネ型 neoシリーズ)	5	8	43
FPSO船体			
艦船・官公庁船			
合計	5	8	43

# 補足：主要製品と主要納入先：機械

## 主要製品・主要顧客

### ディーゼルエンジン

主要製品 = 船用ディーゼルエンジン等

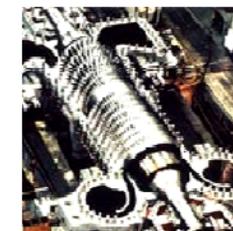
主要顧客 = 造船所等



### 産業機械

主要製品 = 圧縮機、送風機、ガスタービン、蒸気タービン、プロセス機器、誘導加熱装置、レーダ検査装置、マニピュレーター等

主要顧客 = 石油精製、石油化学、製鉄、製紙、発電会社、自動車メーカー等



### テクノサービス

主要製品 = ディーゼルエンジン、産業機械、クレーンのサービスパーツ、メンテナンス等

主要顧客 = 海運業、石油業界、製鉄業界、海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社等

### コンテナクレーン

主要製品 = ポーターナ(岸壁クレーン)、トランスターナ(港湾クレーン)、産業クレーン、CTMS※等

主要顧客 = 海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社、製鉄等

※Container Terminal Management System



### その他

主要製品 = 陸用/船用非常用発電装置、鋳造品、鍛造品等

主要顧客 = 建機メーカー、鉄道、通信インフラ関連業界、機械メーカー等

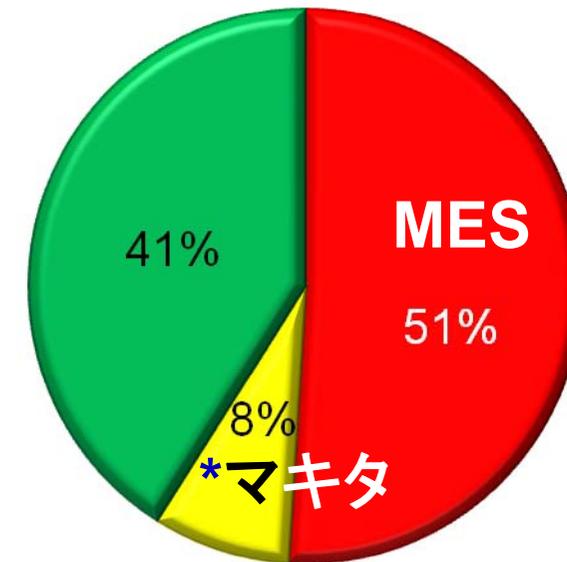


# 補足：船用ディーゼル機関

	14年度累計		15年度2Q累計	
	基数	万馬力	基数	万馬力
受注	176 *(12)	322 *(31)	28	49
売上	166	328	73	138
受注残	149 *(12)	284 *(31)	104	196
生産	181	354	87	158

\* ( )内数値は、ガス焚きエンジン(GI、LGI)内数

2014年1月～12月  
船用ディーゼルエンジン国内シェア



Source: KPデータ(2ストローク機関)

\* (株)マキタは当社サブライセンシー

# 補足：主要製品と主要納入先：エンジニアリング

## 化学プラント

主要製品 = プラスチック、合成繊維、合成ゴム等石油・ガス化学プラントのEPC

主要顧客 = 国内外の大手化学企業や国営石油会社

## インフラ発電

主要製品 = 石炭火力発電所の土建工事、バイオマス発電等再生可能エネルギープラント  
および汚泥再生処理等の環境プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 総合商社、国内新電力会社、地方自治体

## BWSC(インフラ発電)

主要製品 = ディーゼル発電プラントおよびバイオマス発電プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 大手電力会社や独立系発電事業者 (Independent Power Producer)



## エンジニアリング受注・売上内訳 (億円)

	14年度2Q		15年度2Q	
	受注高	売上高	受注高	売上高
化学プラント	153	193	88	310
インフラ発電	368	328	491	400
計	521	521	579	710